

- A. 日 時 2021年10月15日 金曜日 17:30～19:10
- B. 場 所 Zoomによるリモート会議
- C. 出席者 主査他、14名
- D. 提出資料（提出委員名）
 - 【3-01-1】20210709AIJ 環境振動運営委員会第2回議事録案
 - 【3-02-1】210930_環境工学本委員会（第2回）議題
 - 【3-02-2】210930_環境工学本委員会（第2回）資料
 - 【3-02-2-1】追加資料_実施計画書_第17回建築設備シンポジウム
 - 【3-02-3】(4)2021 若手発表評価シート環境振動_集計表
 - 【3-03-1-1】測定分析小委員会（第3回）報告 20211015
 - 【3-03-1-2】公開時の追記_建築物における環境振動測定・分析に関する資料
 - 【3-03-1-3】測定分析小委員会 2022年度活動計画案
 - 【3-03-2】性能評価小委員会活動報告
 - 【3-03-3-1】予測情報小委-第3回活動報告
 - 【3-03-3-2】2022年度活動計画-予測
 - 【3-03-3-3】委嘱・解嘱連絡用紙（BL 建設_松田委員解嘱）
 - 【3-03-4-1】設計検討小委員会報告
 - 【3-03-4-2】活動計画_2022環境振動設計検討小委員会
 - 【3-03-9】第7回道路交通振動の加振力検討WG議事録（案）

E. 議事内容

O. 前回議事録確認（資料 No. 3-01-1）

- ・委員会名など誤表記は修正するとして、議事録は承認された。
- ・議事録 3-1 の委員の参加については、測定分析小委員会にオブザーバー参加することで決まった。

1. 本委員会報告（資料 No.3-02-1～3）

- ・22年度の大会は9/5～9/8に北海道科学大学にて、オンラインであるいは対面とのハイブリッドで開催予定。
- ・22年度の予算配分は前年度と同方法で行う。
- ・女性会員の参画機会を増やすことを進めているので、委員選考の際には考えて欲しい。
- ・教育賞候補募集 → 環境工学委員会からは推薦なし
- ・21年度大会の反省 → 各委員会で意見があれば出して欲しい
事前の動画を見るのが大変という意見と良かったという意見があった
質疑時間が長くて良かった
質問を引き出す工夫が必要
座長の負担が大きい（事前の動画チェックなど）
- ・22年度大会のOS、研究発表部門・細分類の検討 → 特に変えなくていいか、意見があれば委員長へ
- ・22年度予算配分方針は21年度と同じ方針とする。予算使徒の要望はいくつか出ている。
- ・刊行物「低周波音……」の絶版承認

- ・委員の委嘱・解嘱については承認

【依頼事項】

- ・大賞業績賞候補推薦：音環境から橘先生を推薦するので同調して欲しいと依頼あり
→ 協力することを承認
- ・文化賞 → 推薦なし
- ・若手発表は環境振動からは丸谷さんを推薦
（意見）連報での発表で発表時間に関する評価が低くなった人がいる。若手は独立で発表することというようにできないか。他部門ではそうしているところがある。
- ・22年度オーガナイズドセッション → 提案なし
- ・若手奨励特別委員会 希望があれば応募を
- ・AIJES 刊行方針検討 WG アンケート
環境振動運営委員会の柱は予測、測定、評価
これまでは評価のみ AIJES 対象と考えていたが、今後は予測（設計）、測定についても検討することとしてはどうか
分野横断的基準については必要に応じて検討
環境要因に関する人間の反応というものを普遍的に捉えるようなものを出していければ
設計や解析の基準を作るとそれに頼ってしまって進歩や創意工夫が止まってしまうのではと危惧される
ツールのなものや「基」になるもの、アカデミックスタンダードとは何か考えるべき
AIJES をどうしていくか、議論していった方がいいと考える
AIJES の分類と位置づけとして
 基準総則
 設計規準 ← 設計の手引きがこれにあたるのでは
 施工規準
 検査規準
 運用規準 がある
運営委員会の方針を決めアンケートに回答するため、SpWG を作って議論することとした

2. 各小委員会・WG 活動報告

2-1. 環境振動測定分析小委員会（資料 No.3-03-1-1～3）

- ・10月4日に第2回を開催した。
- ・特許機器の久保さんがオブザーバーとして参加。
- ・予算の用途として、測定実施に伴う費用に使いたいという提案。
- ・「測定・分析に関する資料」の一般公開に関して、学会からの指摘事項（免責事項・問合せ先の追記など）に対応。
- ・測定データの管理に「BOX」を利用することを検討。
- ・定常振動、非定常振動に加えて水平振動も対象とする。水平振動は交通振動が対象となる。
- ・22年度計画では「測定・分析に関する資料」の改定に向けた準備を考えている。
測定・分析の結果の整理、検証方法をまとめる。
取り組むべき測定分析方法を整理
事例収集等のまとめ

- 2-2. 環境振動性能評価小委員会（資料 No.3-03-2）
- ・活動計画案を確認した。
 - ・見える化 WT、時間効果 WG からの報告。
 - ・意見交換の中で「スマホ利用」「風揺れ」「地震揺れ」の話が出た。
- 2-3. 環境振動予測情報小委員会（資料 No.3-03-3-1～3）
- ・宿題 3 題の報告。
 - 間仕切り壁を考慮した上下階伝播
 - 質点系での上下階伝播の簡易予測
 - 歩行振動に対する検討手法
 - ・活動報告書について
 - 目次案、まえがき案、文書フォーマットの説明を行った
 - 公表方法について議論した
 - ・活動計画について説明した。
- 2-4. 環境振動設計検討小委員会（資料 No.3-03-4-1～2）
- ・7月13日と9月30日の2回開催した。対面・WEB併用。
- 【7月3日】
- ・小委員会の目的について議論
 - 使ってもらい、使いやすい、使いたくなる手引きにするために
 - 「指針」化を目指す
 - 居住性と安全性
 - 大規模木造を入れる
 - 検討不十分事項の洗い出し
 - 確認計測の意味
 - バラツキ幅
 - 性能マトリクス
 - 揺れの感じ方の表現統一
 - 時間効果
 - 資料集の作成
- 【9月30日】
- ・資料集に盛り込む内容について。
 - 性能マトリクス、設計例、設計値と測定値
 - ・振動台での体験について
 - ・手引きの枠を拡げるために
 - 対策
 - 上下階伝搬
 - 建築主との合意形成事例
 - ・22年度活動計画
 - 設計資料集の26年度発刊を目指す
 - 設計例の作成、性能マトリクスの見直し検討
 - ・次回、11月29日開催予定。
- 2-5. 広報 WG 活動報告

- ・小委員会，WG の議事録を送っていただければ，UP したい。

2-6. 環境振動モニタリングWG活動報告

- ・キックオフを8月26日に開催。
- ・過去のモニタリング事例の紹介 軍艦島。都市のスマートモニタリング
- ・意見交換
 - センサ性能の大きな改善
 - モニタリングにより新たに解明できるものとは

2-7. 小規模建築物の振動特性WG活動報告

- ・未開催
- ・次回は11月中頃を予定

2-8. 道路交通振動の加振力検討WG活動報告（資料 No.3-03-9）

- ・8月31日に開催。
- ・活動目的・方針の確認。
 - 道路交通振動の予測方法の確立を目指す。
- ・話題提供：
 - 道路交通振動による建屋の振動5事例
 - 水平 3Hz、鉛直 10Hz あたり

2-9. 環境振動企画WG活動報告

- ・1月27日開催予定の環境振動シンポジウムのタイトル案、テーマ内容、話題提供者の選定を行った。
- ・話題提供者への確認を取り、1名が不可とのことで、運営委員会委員に話題提供していただく調整を行った。
- ・10月18日にWGを開催し、詳細を決定する予定。

次回以降の開催予定

今年度 第4回 2021年12月14日（火） 17：30～
第5回 2022年1月27日（木） 10：30～

以上